

## 議事録

1. 件名：「令和5年度制振装置の試験」に係る打合せ(第3回)
2. 日時：令和5年12月20日(水) 10:00~12:00
3. 場所：原子力規制庁 18階会議室
4. 出席者：原子力規制庁  
長官官房技術基盤グループ 地震・津波研究部門  
日比野総括技術研究調査官、田岡主任技術研究調査官、川内技術計画専門職、  
石田技術参与、高松技術参与  
  
東芝エネルギーシステムズ株式会社  
原子力プラント設計部 エキスパート 他2名  
原子力技術部 シニアエキスパート
5. 要旨：  
長官官房技術基盤グループ 地震・津波研究部門では、地震に対するフラジリティ評価手法の高度化の検討の一環として、既設プラントに新たに導入された設備の耐震性を把握するための安全研究を令和3年度から令和6年度にかけて計画し、実施している。  
当部門では、本安全研究の一環として、東芝エネルギーシステムズ株式会社と請負契約を締結し、「令和5年度制振装置の試験」事業を実施している。  
今回は、当事業に係る第3回打合せを実施した。内容は下記のとおり。
  - ① 東芝エネルギーシステムズ株式会社より、当事業の制振装置の試験条件、制振装置を対象にした解析に関する文献調査について説明があった。
  - ② 試験条件について、令和5年11月22日の技術検討会(第1回)における学識経験者のコメントを踏まえた変更内容を確認した。
  - ③ 文献調査について、調査結果の取り纏め状況を確認した。
6. その他  
特になし